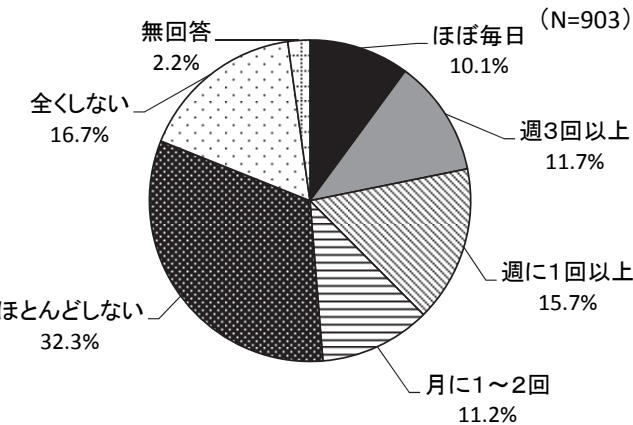


## 市民のスポーツの実施状況と課題

平成27年1月に「丹波市スポーツ推進計画アンケート調査」を実施しました。その結果から丹波市民のスポーツ・運動の実施状況や課題を分析しました。

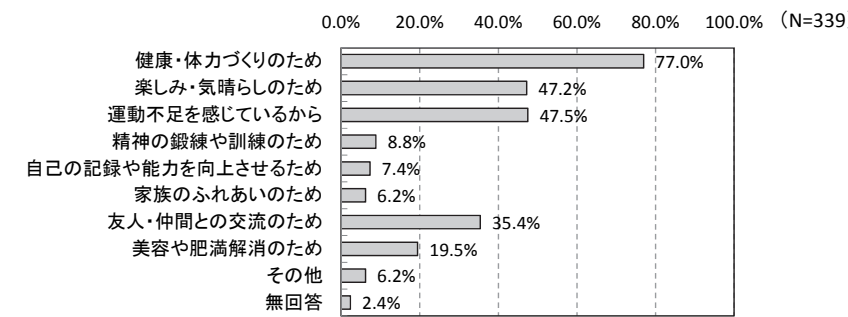
### (ア) 約4割の人が、スポーツ・運動を行っています

1年間に「週1日以上スポーツ・運動を行った人」の割合は、37.5%です。年代別では、70代が56.2%、80代が47.5%、60代は40.6%と、60代以上のスポーツ・運動実施率は4割となっていました。他の年代は20代の30.9%を除き、3割を下回っています。



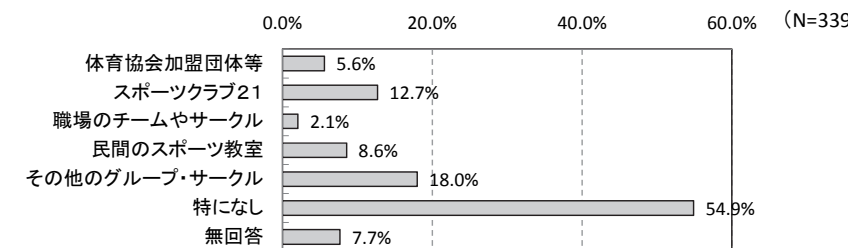
### (イ) 健康志向からスポーツ・運動を行っています

スポーツ・運動を行う目的として、「健康・体力づくりのため」が77.0%で最も多く、次に「運動不足を感じているから」が47.5%と続いており、健康志向が高いことがうかがえます。「楽しみ・気晴らしのため」(47.2%)、「友人・仲間との交流のため」(35.4%)も挙げられています。



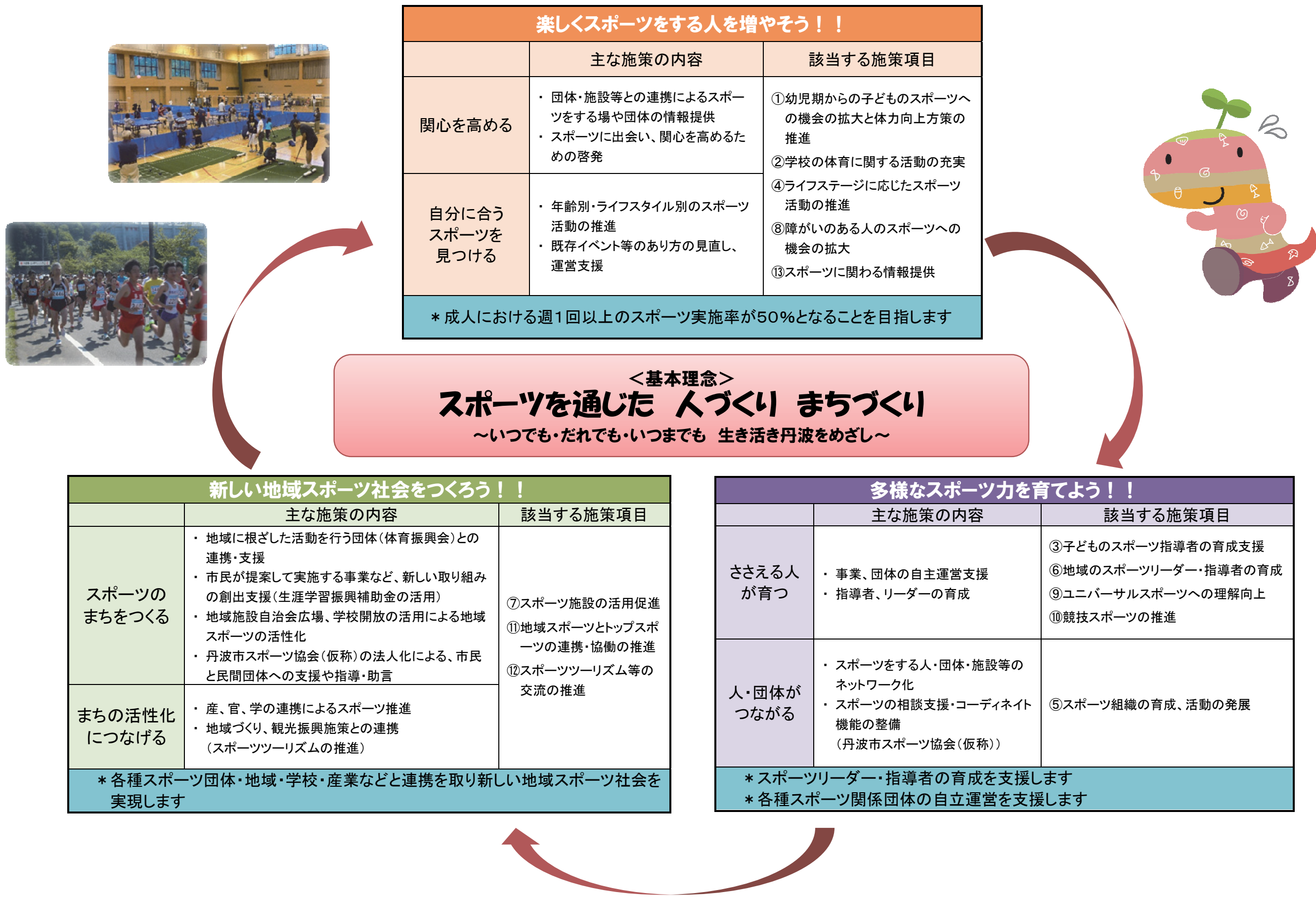
### (ウ) 日常的にスポーツ・運動をしていても、スポーツ団体への加入は少ないです

「週1日以上スポーツ・運動を行った人」の54.9%は、加入しているスポーツ団体は「特になし」と回答しています。



- 週1回以上スポーツ・運動を行う成人の割合は37.5%であり、特に20代から50代の実施率が低い値にあることから、いかに仕事や家庭、育児をしながら、スポーツも楽しむことができる機会をつくるかが重要であるといえます。また、年齢・体力的なことから参加に消極的な人たちが多く、体力の優劣に関わらず誰でもできるスポーツを企画すること求められています。
- ボランティア活動をはじめとして、地域のスポーツを支えることや指導者となることには消極的であることから、今後のスポーツ活動を支え、引っ張っていきような人材を増やすことが必要であるといえます。
- スポーツイベントなど、スポーツの取り組みが十分伝わっていない状況にあるため、現状よりもっと多くの人たちに周知するとともに、興味を持ってもらえるような情報提供が大きな課題といえます。

## スポーツ推進のイメージ (基本理念の実現に向けて、取り組みの好循環を生み出す)



## スポーツ推進施策の体系

